

## カローリングルール

### ■メジャー競技

1チーム3人でカラフルな6色のジェットローラ6個を使用します。ジェットローラはライトウエイトの2Kgを使用します。ポイントゾーンまでの距離は11mです。日本選手権大会及び国際競技大会の公認競技種目です。いま地域の活性化や職場、老人クラブ、学校のサークル活動等のイベントに大好評です。

### ■マスター競技

1チーム3人でメジャー競技と同様にカラフルな6色のジェットローラ6個を使用します。ジェットローラは3.7Kgを使用します。ポイントゾーンまでの距離は12mです重量感のある本格派の競技で日本選手権大会の公認競技種目です。

### ■ジュニア競技

1チーム4人で相手チームと異なる同色のジェットローラを4個使用します。ジェットローラはライトウエイトの2Kgを使用します。ポイントゾーンまでの距離は9mです。ルールがとても簡単で小学生向けのカローリング競技としてクラスメイトや保護者、先生方と手軽に楽し遊べる大好評のコミュニケーションスポーツです。

### ■場所

身近な施設のフロア（床面）

### ■フロアコート

床面はフロアボード（木面）、ゴム面、樹脂タイル（Pタイル）などの平らな床面はどこでもご利用できます。ジェットローラのベアリングホイールは床面をいためることはありません。

### ■服装と靴

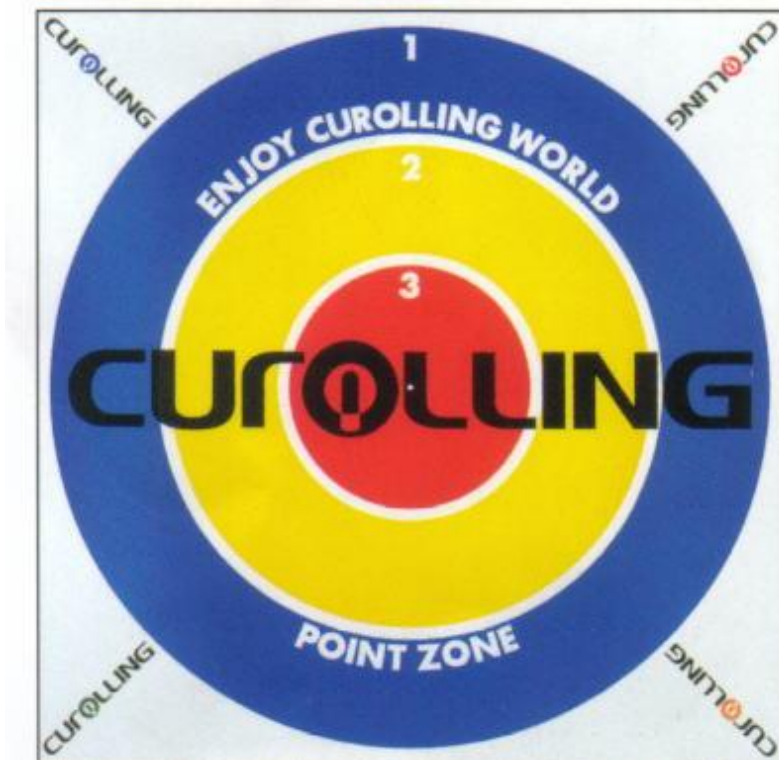
服装は軽装とし、床面では体育館シューズを使用します。

### ■用具

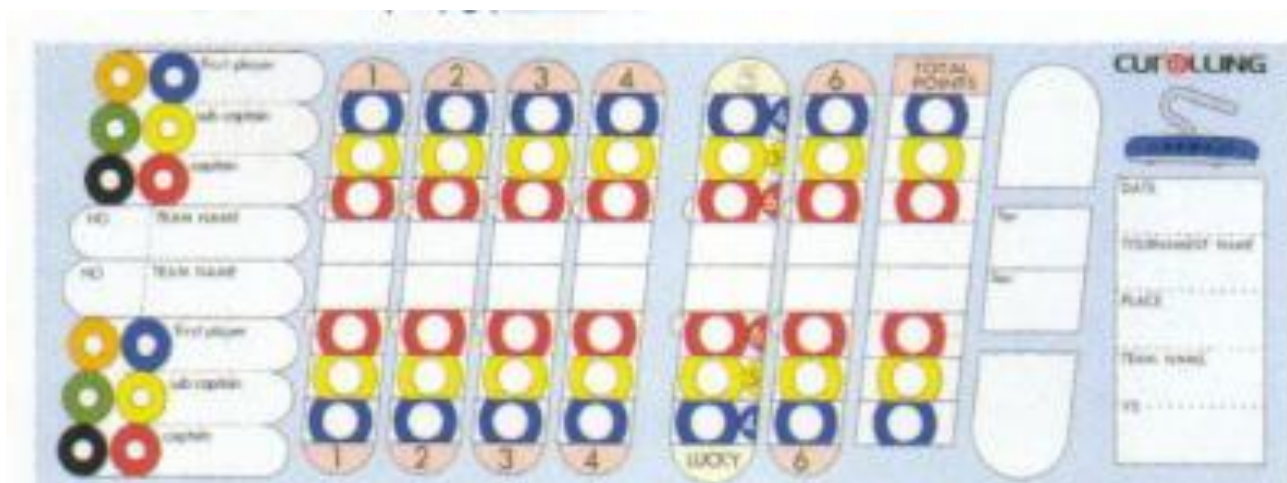
ジェットローラは、カラフルな橙、青、緑、黄、黒、赤を使用します。



ポイントゾーンは、床面に四方をテープで貼付します。



スコアカード（マスター、メジャー競技共通）



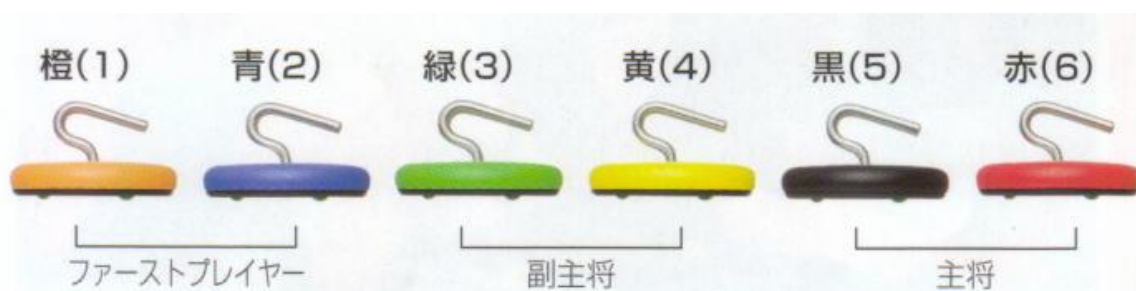
### ■正しい投球ホーム

床面に片膝又は両膝をつき、ジェットローラのハンドル上部に手のひらを軽くあてて2、3回前後に軽く滑らせ目標に向けて押し出すように投球します。ジェットローラが手を離れた瞬間、指先が真直ぐに目標方向を指しているのが正しい投球です。押出す際の力加減が最も重要です。

●足が投球ラインを越えるとアウト、オンラインはセーフです。立ったり、走りながらの投球及び中腰姿勢の投球はすべてアウトです。投球する前に手がスローラインを越え、床面に手がついた場合はアウトになります。投球した後に手がラインを越え、床面に手がついていてもアウトにはなりません。

### ■メジャー競技とマスター競技

1チーム3人でジェットローラ6個（6色）を使用します。ファーストプレイヤーは、橙、青の2個のジェットローラを投球し、次に副主将が緑、黄の2個のジェットローラを投球し、最後に主将が黒、赤の2個のジェットローラの投球順序で相手チームのプレイヤーと1個ずつ交互に投球します。



## 投球順序（番号順）

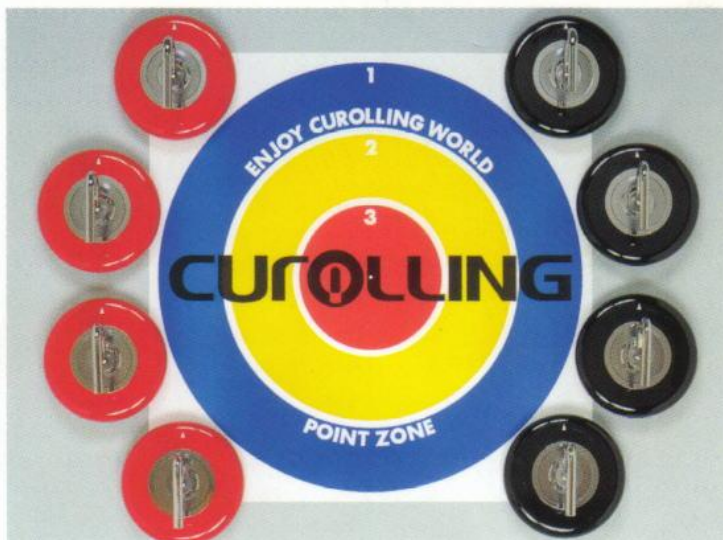
Aチーム先攻の場合

Bチーム

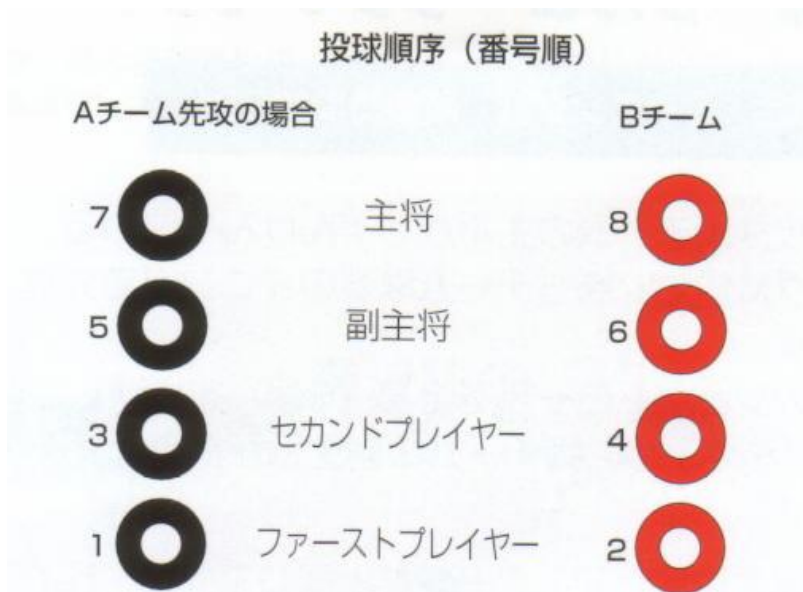


## ■ジュニア競技

1チーム4人でジェットローラ4個（同色）を使用します。ファーストプレイヤー、セカンドプレイヤー、副主将、主将の順序で相手チームのプレイヤーと1個ずつ交互に投球します。







## ○競技開始時のルール

- 先攻、後攻は両チームの主将がじゃんけんで決めます。各プレイヤーは1試合が終了するまで投球順序を変更することはできません。
- 2イニング目からは、前のイニングで得点したチームが先攻となる。両チーム無得点の時は前のイニングで先攻したチームが再度 先攻になります。
- 両チームの主将は、各イニングの競技開始時にポイントゾーンの周辺に待機し、味方チームのファーストプレイヤーが投球したジェットローラがアウトになった場合、そのジェットローラを除去します。ファーストプレイヤーの投球後、すみやかに交代してスローラインへ戻ります。
- 両チームのファーストプレイヤー及び副主将は、投球を終了したら、すみやかにポイントゾーンの周辺に行って待機し、味方チームのプレイヤーが投球するジェットローラを適切にアドバイスをを行います。投球されたジェットローラがアウトになった場合すみやかに除去します。
- 両チームの各プレイヤーはジェットローラの投球時にポイントゾーン上に存在するジェットローラの状態を確認するためにスローラインを越えてポイントゾーンに近づくことはできません。
- 両チームの各プレイヤーは競技中にポイントゾーン（90cm正方形）内に足を踏み入れることはできません。イニングの終了後、両チームの副主将が得点計算を確認する場合にのみ、副主将がポイントゾーンに入ることができます。
- 両チームの副主将はそれぞれスコアカードを所有し、上段に味方チームとプレイヤー名、下段に相手チーム名とプレイヤー名を記入し、各イニングにおいてすべての投球が終了した後、相手チームの副主将と得点を確認の上、スコアカードに記入します。